



■ホシザキ(株)坂本会長講演会・交流会開催！



木次・チェリパホールで2月23日開いた2019年定時総会終了後、坂本精志・ホシザキ代表取締役会長の講演会を開きました。坂本会長は小学校1年生から3年生まで木次町に登に疎開。「島根2世」と自称しておられます。

「夢はかなうもの～人生とは思い出を作ることなり」と題して講演した坂本会長は、夢を見るだけでは空想に過ぎない。いいと思ったらやり続け、達成するにはどうすればいいか具体的に考えることが大切だ、と強調しました。

坂本会長はSON・愛知の2代目会長として社団法人化を実現、現在も顧問としてご活躍中です。昨年のナショナルゲーム名古屋

屋の際も、島根県選手団を激励していただきました。

講演で坂本会長は、SO活動について「スポーツを通じて障がい者と健常者が共生できる社会にしていきたい。アスリートの将来を考えると不安になる。補助金なしで生活できるようにしたい」と話しました。

また「小さなことでいいから『初めて』を目指し、プラス思考で成功体験を積み重ねたい」としながら「同じことをやっていると気が緩む。変化も大切」と強調していました。

副会長・ボランティア委員長 藤原秀晶

2019年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アブダビに参加しました！

19'夏季WGを終えて

アブダビで行われた夏季世界大会に、バスケット女子のコーチとして参加しました。

11月にコーチ、アスリート初めての対面。互いに緊張し無事に終わるかどうかが不安でした。以降、月1回のミーティング、3回の合宿がありました。この短い時間で人間関係を築き、最高のパフォーマンスが出せるようにする、これはアスリートにとってもコーチにとっても勉強になりました。大会では、オリンピック並みの開会式や閉会式、会場、ボランティア人数、スペシャルオリンピックスの認知度の高さに驚かされました。

また、エキシビションのユニファイドバスケットに日本の男女3人のアスリートが出演。1つのボールを年齢、性別、宗教、言葉、国を越えて追う姿にとっても感動しました。

こういった体験をひとりでも多くの人にしてみたいと強く思いました。

～垣根のない社会を目指して～

バスケットボールコーチ 競泳ヘッドコーチ 青山砂織



ワールドゲーム・アブダビ

アラビアの首都アブダビに行ってきました。

3月14日～21日の1週間で開かれた世界大会を見るのは初めてでした。世界中のアスリートやファミリー、コーチのほか、日本選手団と交流ができました。日本とは違った環境で慣れないこともありましたが、楽しく過ごしました。競技会場では、たくさんの競技を応援・観覧・交流しました。観光では、歩いたり、アラブを体感したり、世界大会を実感したこともありました。迷惑も掛けつつでしたが、アジア以外で初の海外経験になりました。世界中から参加したアスリートの皆さん、コーチの皆さん、そしてSON・島根から参加した青山コーチ、本当にお疲れ様でした。これからも宜しくお願いします。

アスリート 柿木 篤

スキーコーチクリニック&2020冬季ナショナルゲーム北海道に向けて

2020冬季ナショナルゲーム北海道への参加を目指し、SON島根でもアルペンスキープログラムを始めることとなりました。

そこで急遽SON山口が主催されたコーチクリニックに島根から5名受講することになりました。

開催日は2月24日、会場は中国縦貫道吉和インターから10分程の「めがひらスキー場」。当日は快晴、気温も高くスキー場に着くまで雪を見ることもなく、雪は大丈夫かなという気持ちでした。

「めがひら」はかなり規模の大きいスキー場で全コース人工降雪があり、ほぼ全コースが滑れる状況でした。

クリニックはAM:アスリート理解、PM:実技があり、実技には山口のアスリートも参加しており、彼らの雪上行動は実技を理解するうえで参考になりました。

他に山口、広島地区からの参加がありましたが、各地区とも北海道大会参加に向けて取組をされているということでした。

島根も初めての冬季競技ということで2シーズンのトレーニングで参加を目指します。

少数精鋭でのチャレンジとなると思いますが、しっかりとプログラムを実施し北海道冬季大会への参加を目指します。

スポーツプログラム委員長 尾原陽二



2019年度定時総会

2月23日(土)午後2時30分から、雲南市木次経済文化会館で2019年度の定時総会を開催しました。正会員172名中委任状提出を含めて101名の出席がありました。

今回は2018年度の事業並びに決算、運営委員の変更、2019年度

の活動計画並びに予算について審議いただき、いずれも承認可決いただきました。2019年度も多くの活動を計画しています。しっかりと取り組んでまいりますので、ご協力、ご支援賜りますようお願いいたします。

事務局 陰山義広

柔道コーチクリニック開催！

2019年4月7日(日)、柔道プログラムコーチクリニックを開催しました。県内外から40名を超える参加者がありました。

柔道プログラムは、本年6月からの開始予定です。県内4会場(松江・出雲・江津・浜田)での同時スタートです。参加者の多くがこの設立について当初から携わっていただいている方ということもあり、熱気あふれる研修会となりました。

午前中は宮本恵理ローカルトレーナーのゼネラルオリエンテーション・アスリート理解、午後は濱名智男スポーツトレーナーの柔道講義と実技でした。

宮本さんからは、アスリートの立場に立った支援やインクルーシブな取り組みの推進についての部分に多くの時間を割いてご指導いただきました。

濱名さんからは、柔道の原理を生かした安全で楽しい柔道について具体的に例示いただき、参加者全員が柔道着を着用して体験することができました。

この熱気を、アスリートとの継続的なトレーニングと発表の場である競技会につなげていきたいと強く思った1日になりました。

柔道ヘッドコーチ 飯塚 守



柔道プログラムが始まります！

6月から新しく柔道プログラムが4会場が始まります。アスリートやボランティアとして参加してみたい方、関心のある方はお気軽にお問い合わせください。

- 松江会場 島根県立武道館
- 出雲会場 出雲市立大社中学校武道場
- 江津会場 江津中学校
- 浜田会場 島根県立石見武道館



サンキューパーティー ～カレー作り～

3月17日(日)、出雲市の出西コミュニティセンターで卓球プログラム終了後、「サンキューパーティー」を行いました。

朝早くからお母さん方が作った美味しいカレーを食べながら、アスリート、コーチ、ファミリーは親睦を深めました。

コーチへは、アスリートから手作りのクッキーやお礼のメッセージカードが贈られ、楽しい時間となりました。

ファミリー 浅田はるみ



レクリエーション ～タケノコ掘り～

4月14日(日)、出雲市の出西コミュニティセンターで卓球プログラムを終了した後、青木コーチ指導のもと、アスリートとファミリーの5家族が毎年恒例のタケノコ掘りに奮闘しました。

朝方の雨模様でどうなることかと心配していましたが、タケノコ掘り開始時には天候が回復し、昼食を挟み楽しい時間をみんなで過ごすことができました。

地面とにらめっこし、ちょこんと頭を出しているタケノコを見つけるだけで歓声が上がっていました。

また、青木コーチがカブトムシの幼虫を掘り出し、その大きさにみんながビックリしていました。

貴重な体験でした。

ファミリー 浅田はるみ



赤い羽根共同募金(テーマ募金)活動



今年も、赤い羽根共同募金活動を行いました。内容は、チラシを配布しSOの説明をし募金協力をお願いすること、街頭募金の活動です。今年は、山陰フィル様のご厚意で、コンサートのチケットもぎり、受付で募金活動をさせていただきましました。コンサートも鑑賞させていただきました。また、みしまや上乃木店で街頭募金もさせてい

いただきました。アスリートさんが大きな声で皆さんに呼びかけ、町の皆さんとふれあい、どんどん笑顔になっていく様子は、とても微笑ましく思います。こういった、社会参加の活動をとおして、自分に自信をもち、前に進んでいける力をつけ成長して欲しいと思います。

財務委員長 糸川恵美子

きらり賞受賞!!

2019年度の全国代表者会議において、SON・山形、SON・青森、SON・島根の3つの地区組織が「きらり賞」を受賞しました。創意工夫ある活動や先駆的な取り組みがきらりと光る活動として評価されたもので、SON・島根は2016年度に続いて2回目の受賞です。高い評価をいただきましたのも、皆さまのご支援

によるものと心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。これからも、今回の受賞に満足することなく、多くのアスリートが楽しく参加できる環境づくりを進めてまいります。今後ともどうぞご支援賜りますようお願い申し上げます。

事務局 陰山義広



ご寄付いただきました。



2月8日から3月24日まで、松江市の松江歴史館で開催された展覧会「松江市の花 つばきの世界 椿絵名品展」で集めた募金と売上げの一部を、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様並びに山陰中央新報社からご寄付いただきました。両社は地域貢献に積極的に取り組まれており、障がい者スポーツの振興にも力を注いでおられます。展覧会は、ツバキが松江市の市花であるとともに、茶の湯の席中の花としても珍

重されていることを縁に企画されています。展示した椿絵53点の全てはあいおいニッセイ同和損害保険様のコレクションで、期間中、約5000人が来場されました。贈呈式は4月15日(月)午後1時から雲南市役所において行われ、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の津村隆二島根支店長、山陰中央新報社の柳田雅彦執行役員文化事業局長から速水会長に、あたたかい励ましの言葉を添えて手渡されました。

事務局 陰山義広

【お詫びと訂正】

2019年1月発行ニュースレター11号の賛助会員(企業・団体)名称に誤りがありました。「有限会社横戸商店」と記載しておりましたが、正しくは「有限会社横戸天狗堂」です。謹んでお詫び申し上げます。

編集後記

今回はホシザキ(株)坂本会長の講演会やアブダビで開催されたワールドゲーム、アルペンスキーや柔道のコーチクリニックなどの話題を取り上げました。今回のニュースレターからページ数を半減、発行回数を増やし、よりタイムリーな話題をお知らせ出来るようにいたしました。ニュースレター発行に対し原稿及び写真提供にご協力いただきました皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

広報委員長 若槻和宏

発行/スペシャルオリンピックス日本・島根 広報委員会 発行日/2019年5月31日

〒699-1105 島根県雲南市加茂町宇治303 雲南市加茂文化ホール ラメール内 TEL0854-49-8500 FAX0854-49-6200